



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社

コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 古川 令治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長

(氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,781	2.1	△25	—	△32	—	36	—
24年3月期第3四半期	2,723	△21.1	△290	—	△336	—	△450	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 61百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △462百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.65	—
24年3月期第3四半期	△20.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,929	2,893	58.2	129.18
24年3月期	5,104	2,880	55.9	128.41

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,868百万円 24年3月期 2,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,509	25.9	49	—	24	—	78	—	3.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	22,615,056 株	24年3月期	22,615,056 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	412,963 株	24年3月期	412,870 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	22,202,127 株	24年3月期3Q	22,214,024 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場は、依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、昨年末から国内株式市場が活況にあるなど、デフレからの脱却が期待されております。国内のホテル・レジャー市場は、一時の急激な落ち込みから立ち直ったものの、国内観光需要及びビジネス需要の低迷により厳しい状況が続いております。国内食品加工産業は、長引くデフレの影響により、新規設備投資に消極的な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当第3四半期の当社グループは、保有不動産の売却、オペレーション事業の立て直し、太陽光発電関連事業の進捗などに注力してまいりました。

当第3四半期の営業成績は、当第3四半期間に不動産売却益が実現したことや、不採算店舗撤退の効果などにより、震災の影響があった前年同期と比較して大幅に損失が縮小し、売上高2,781百万円(前年同期比2.1%増)、営業損失25百万円(前年同期は営業損失290百万円)となりました。

経常利益については、直近の円高の進捗により、第2四半期までに生じた為替差損10百万円がなくなり、当第3四半期で為替差益7百万円(17百万円の為替差損益改善)に転じたことから、経常損失32百万円(前年同期は経常損失336百万円)となりました。

四半期純利益については、大分及び宮崎のビジネスホテルの事業譲渡益101百万円、リゾートホテル「ヴィラ北軽井沢エルウィング」の事業譲渡損29百万円などがあり、四半期純利益36百万円(前年同期は四半期純損失450百万円)と黒字に転じました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。また、新規事業として太陽光発電関連事業に取り組んでおります。

当第3四半期は、不動産の賃貸収益69百万円のほか、平成24年12月に販売用土地(群馬県利根郡みなかみ町)を売却したことによる回収益87百万円があり、売上高558百万円(前年同期比322.8%増)、セグメント利益82百万円(前年同期はセグメント損失23百万円)と黒字に転じました。

また、新規事業である太陽光発電関連事業については、以下の2カ所の発電所建設について取り組みを進めております。なお、両案件の資本参加者、資金調達方法等のプロジェクト・スキームは確定しておりません。今後、具体的になり次第、別途公表いたします。

① 岡山県津山市

当社は、岡山県の津山市の太陽光発電用地を確保し、約1.6メガワット規模の太陽光発電所建設に向け、当社提携先である旭テクノプラント株式会社(岡山県)及びシノソルAG社(ドイツ)とともに、準備を進めております。

現時点における見通しでは、電力会社との手続きが完了し次第、本格的な着工を開始し、本年夏頃の稼働開始を予定しております。

② 群馬県利根郡みなかみ町

当社は同町に所有していた土地を平成24年12月に売却いたしました。太陽光発電所用地については売却先との間で賃貸契約を締結しており、約1メガワット規模の太陽光発電所建設に向け、同じく提携先二社とともに、検討を進めております。

現時点における見通しでは、電力会社との手続きや現地の雪解けを待ち、本年春頃の着工、秋頃の稼働開始を予定しております。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社(提出会社)及び連結子会社である株式会社ホテルシステム二十一(兵庫県加古川市)において、宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、給食業務の受託などを行っております。

当第3四半期は、店舗数の減少に伴い減収となったものの、当期より子会社において運営を開始した「加古川プラザホテル」(兵庫県)の収益貢献や、不採算店舗撤退の効果のほか、全般に業績改善が見られ、前年同期の大幅な赤字から黒字転換し、売上高2,029百万円(前年同期比16.5%減)、セグメント利益54百万円(前年同期はセグメント損失125百万円)となりました。

また、当社が公営施設の指定管理事業として取り組んできた、「国民宿舎千畳苑」(島根県)、「たつのパークホテル」(長野県)、「西宮市プレラホール」(兵庫県)の3店舗を、いずれも契約期間満了により、本年3月をもって撤退することとなりました。平成23年7月にオープンした「みなかみアリストンログ&オートキャンプ場」(群馬県)についても、他の事業者に事業を引継ぎ、当社による運営を終了する予定です。各拠点の直近の業績は総じて振るわず、本件撤退は次期以降の業績改善に寄与する見通しです。

<参考>当連結会計年度のオペレーション事業の店舗の異動

- ・平成24年7月に新規運営開始
「加古川プラザホテル」(兵庫県)
- ・平成24年12月までに撤退済み
「大分アリストンホテル」(大分県)
「ホテルグランディ宮崎」(宮崎県)
「ヴィラ北軽井沢エルウィング」(群馬県)
- ・平成25年3月までに撤退予定
「国民宿舎千畳苑」(島根県)
「たつのパークホテル」(長野県)
「西宮市プレラホール」(兵庫県)
「みなかみアリストンログ&オートキャンプ場」(群馬県)

(マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社(東京都青梅市)において、食品製造機械の製造、販売を行っております。なお、同社は前年期中に連結を開始したため、下記の前年同期との比較は、当第3四半期9ヶ月間と前年同期3ヶ月間の実績とを比較しております。

当第3四半期は、売上高193百万円(前年同期比20.2%増)、セグメント損失33百万円(前年同期はセグメント利益23百万円)となり、主要顧客である国内食品メーカーの設備投資需要が縮む中で、大口受注の中止や、新規受注の減少、単価落ち込みなどがあり、当期はここまで、業績が振るわない状況となっております。これを受け、販売体制の強化、製品改良、固定費カット、原価低減などに取り組んでおり、次期以降の業績改善に向けた取り組みを進めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期末の総資産は、前期末と比べ174百万円減の4,929百万円となりました。主な増減理由は、保有国債の満期償還、国内上場株式の売却等による営業投資有価証券の減少366百万円、株式会社ホテルシステム二十一の株式取得に伴うのれん計上額の純増266百万円、事業所の撤退に伴う敷金及び保証金の減少120百万円などであります

(負債)

負債は、前期末と比べ186百万円減の2,036百万円となりました。主な増減理由は、短期借入金の減少50百万円、「ヴィラ北軽井沢エルウィング」の譲渡による長期預り敷金保証金の減少110百万円などであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比べ12百万円増の2,893百万円となり、自己資本比率は58.2%となりました。主な増減理由は、四半期純利益の計上36百万円、配当による剰余金の減少44百万円、その他有価証券評価差額金の減少24百万円などであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月8日付当社「平成25年3月期 第2四半期決算短信」に記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,441	594,560
受取手形及び売掛金	136,376	103,616
営業投資有価証券	757,369	390,827
販売用不動産	214,432	272,947
商品及び製品	5,603	5,339
仕掛品	15,958	36,887
原材料及び貯蔵品	33,679	37,370
預け金	170,895	179,421
その他	177,041	134,495
貸倒引当金	△360	△151
流動資産合計	2,183,437	1,755,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,065,082	1,104,364
土地	1,391,672	1,358,501
その他(純額)	106,234	104,429
減損損失累計額	△302,085	△214,552
有形固定資産合計	2,260,903	2,352,743
無形固定資産		
のれん	131,470	405,966
その他	10,140	1,739
無形固定資産合計	141,610	407,706
投資その他の資産		
投資有価証券	79,204	99,340
敷金及び保証金	268,144	147,154
その他	174,864	171,098
貸倒引当金	△4,136	△3,583
投資その他の資産合計	518,076	414,010
固定資産合計	2,920,591	3,174,459
資産合計	5,104,029	4,929,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,531	132,620
短期借入金	170,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	126,096	40,596
未払費用	157,626	142,046
賞与引当金	—	2,547
その他	295,811	290,995
流動負債合計	860,065	728,805
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	475,004	530,057
長期預り敷金保証金	213,422	102,958
退職給付引当金	32,500	32,500
役員退職慰労引当金	11,600	11,600
その他	30,457	30,776
固定負債合計	1,362,984	1,307,891
負債合計	2,223,049	2,036,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	264,909	257,129
自己株式	△83,258	△83,266
株主資本合計	2,968,233	2,960,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117,193	△92,281
その他の包括利益累計額合計	△117,193	△92,281
新株予約権	29,939	24,913
純資産合計	2,880,979	2,893,077
負債純資産合計	5,104,029	4,929,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,723,651	2,781,997
売上原価	1,018,230	1,153,920
売上総利益	1,705,421	1,628,077
販売費及び一般管理費	1,996,108	1,654,061
営業損失(△)	△290,686	△25,984
営業外収益		
受取利息	1,800	1,893
為替差益	—	7,078
その他	5,635	5,109
営業外収益合計	7,435	14,081
営業外費用		
支払利息	1,986	9,852
社債利息	10,900	10,900
その他	40,216	212
営業外費用合計	53,103	20,965
経常損失(△)	△336,354	△32,868
特別利益		
事業譲渡益	—	101,302
新株予約権戻入益	13,670	6,605
その他	1,938	18,826
特別利益合計	15,609	126,733
特別損失		
事業整理損	46,859	8,693
事業譲渡損	—	29,714
その他	32,369	1,057
特別損失合計	79,228	39,465
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△399,973	54,399
法人税、住民税及び事業税	22,582	19,433
法人税等調整額	28,375	△1,658
法人税等合計	50,957	17,775
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△450,931	36,624
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△450,931	36,624

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△450,931	36,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,878	24,911
その他の包括利益合計	△11,878	24,911
四半期包括利益	△462,809	61,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△462,809	61,536
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャ ント・バン キング事 業	オペレー ション事 業	マニフ ァクチュ アリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	132,124	2,430,115	161,411	2,723,651	—	2,723,651
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	132,124	2,430,115	161,411	2,723,651	—	2,723,651
セグメント利益又は損 失(△)	△23,548	△125,882	23,842	△125,588	△165,098	△290,686

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第2四半期連結会計期間より、旭工業株式会社を新たに連結子会社としたことに伴い、当該連結子会社が営む工業機械の製造及び販売に関する事業を、マニフアクチュアリング事業として、新たに報告セグメントの区分に追加することといたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オペレーション事業」セグメントにおいて、群馬県吾妻郡長野原町の「ヴィラ北軽井沢エルウィング」において業績低迷により同事業所に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失31,357千円として特別損失に計上しました。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャ ント・バン キング事 業	オペレー ション事 業	マニフ ァクチュ アリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	558,686	2,029,336	193,975	2,781,997	—	2,781,997
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	558,686	2,029,336	193,975	2,781,997	—	2,781,997
セグメント利益又は損 失(△)	82,841	54,527	△33,955	103,412	△129,397	△25,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△129,397千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。